

令和7年度柴田町議会3月会議会議録(第6号)

出席議員(18名)

1番	吉田謙治	君	2番	大橋武彦	君
3番	平間康弘	君	4番	笠松均	君
5番	吉田清	君	6番	小田部峰之	君
7番	森裕樹	君	8番	安藤義憲	君
9番	平間幸弘	君	10番	桜場政行	君
11番	大坂三男	君	12番	平間奈緒美	君
13番	佐々木裕子	君	14番	高橋たい子	君
15番	広沢真	君	16番	白内恵美子	君
17番	吉田和夫	君	18番	石森靖明	君

欠席議員(なし)

説明のため出席した者

町長部局

町長	滝口茂	君
副町長	水戸英義	君
会計管理者兼 会計課長	沖館淳一	君
総務課長併 選挙管理委員会書記長	藤原輝美幸	君
まちづくり政策課長	熊谷英樹	君
財政課長	大山薫	君
税務課長	渡辺潤	君
町民環境課長	犬飼美江子	君
健康推進課長	佐藤正人	君
福祉課長	三浦英明	君
子ども家庭課長	真嶋朱美	君

農政課長 併 農業委員会事務局長	宮武靖洋 君
商工観光課長	天野敬 君
都市建設課長	佐藤康弘 君
上下水道課長	平間一行 君
危機管理監	太田健博 君

教育委員会部局

教 育 長	古積裕一 君
教育総務課長	小林威仁 君
生涯学習課長	畑山慎太郎 君
スポーツ振興課長	杉本龍司 君

その他の部局

代表監査委員	関場孝夫 君
--------	--------

---

事務局職員出席者

議会事務局長	鹿又博文
次 長	今野裕介
副 参 事	大川原真一

---

議 事 日 程 (第6号)

令和8年3月19日(木曜日) 午前9時30分開議

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 議案第59号 令和8年度柴田町一般会計予算
- 第 3 議案第60号 令和8年度柴田町国民健康保険事業特別会計予算
- 第 4 議案第61号 令和8年度柴田町介護保険特別会計予算
- 第 5 議案第62号 令和8年度柴田町後期高齢者医療特別会計予算
- 第 6 議案第63号 令和8年度柴田町水道事業会計予算
- 第 7 議案第64号 令和8年度柴田町下水道事業会計予算
- 第 8 議案第78号 令和7年度柴田町一般会計補正予算
- 第 9 陳情第 7号 全国一律最低賃金の創設と中小企業支援の拡充を求める政府に対する意見書採択を求める陳情書の提出について

陳情第 8号 東京都新宿区において顕在化した事例を受けて政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情

---

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

午前9時30分 開 議

○議長（石森靖明君） おはようございます。

ただいまの出席議員数は18名であります。定足数に達しておりますので、議会は成立いたしました。

直ちに本日の会議を開きます。

なお、議案等の説明のため、地方自治法第121条の規定により、説明員として町長以下、関係所管課長等及び監査委員の出席を求めています。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付のとおりであります。

日程に入ります。

---

---

### 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（石森靖明君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第123条の規定により、議長において17番吉田和夫君、1番吉田謙治君を指名いたします。

---

---

日程第2 議案第59号 令和8年度柴田町一般会計予算

日程第3 議案第60号 令和8年度柴田町国民健康保険事業特別会計予算

日程第4 議案第61号 令和8年度柴田町介護保険特別会計予算

日程第5 議案第62号 令和8年度柴田町後期高齢者医療特別会計予算

日程第6 議案第63号 令和8年度柴田町水道事業会計予算

日程第7 議案第64号 令和8年度柴田町下水道事業会計予算

○議長（石森靖明君） 日程第2、議案第59号令和8年度柴田町一般会計予算、日程第3、議案第60号令和8年度柴田町国民健康保険事業特別会計予算、日程第4、議案第61号令和8年度柴田町介護保険特別会計予算、日程第5、議案第62号令和8年度柴田町後期高齢者医療特別会計予算、日程第6、議案第63号令和8年度柴田町水道事業会計予算、日程第7、議案第64号令和8年度柴田町下水道事業会計予算、以上6件を一括議題といたします。

議案第59号から議案第64号までは予算審査特別委員会に審査を付託しておりましたので、平間幸弘委員長から審査結果の報告を求めます。委員長平間幸弘君の登壇を許します。

〔予算審査特別委員会委員長 登壇〕

○予算審査特別委員会委員長（平間幸弘君） それでは、予算審査特別委員会委員長の報告をい

たします。

去る9月9日の本会議において、予算審査特別委員会に審査を付託されました、議案第59号令和8年度柴田町一般会計予算、議案第60号令和8年度柴田町国民健康保険事業特別会計予算、議案第61号令和8年度柴田町介護保険特別会計予算、議案第62号令和8年度柴田町後期高齢者医療特別会計予算、議案第63号令和8年度柴田町水道事業会計予算、議案第64号令和8年度柴田町下水道事業会計予算の6件については、3月9日に特別委員会を招集し、3月10日、11日及び12日の3日間、関係担当者の説明を聴取するとともに、委員間討議により慎重に審査を行いました。

審査の結果、議案第59号から議案第64号までの令和8年度柴田町各種会計予算6件は、いずれもこれを原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

なお、少数意見の留保はございませんでした。

次に、令和8年度各種会計予算の執行に当たり、予算審査特別委員会としては、特に3件の項目を要望的意見として、次のとおり取りまとめましたので、併せて報告いたします。

令和8年度予算執行に当たっての要望的意見。

1点目、イベントを好機とした体験型PRの展開を。

ふるさと柴田応援寄附金の増額に向けて、船岡城址公園で開催している各イベントで返礼品の試食、試飲コーナーを設け、その魅力を直接体感してもらうことで、その場でのオンライン寄附や帰宅後のリピート寄附につなげられたい。

2点目、情報発信ツールの特性を生かした効果的な情報発信を。

LINEによる町からの情報発信については、所管事務調査に対する措置状況によると、アカウント登録者数は確実に増加しています。しかし、視覚的な訴求力の高い発信に努めたとあるが、今年1月以降の64件投稿したうち、写真やチラシ等の掲載があったのは9件でありました。いまだに文字情報が多い投稿が多く、LINEの特性を生かし切れていない。今後、ほか自治体のLINEを参考にして、効果的な情報発信に努められたい。

3点目、保育環境の計画的な整備を。

船岡保育所保育室空調整備工事は、既設セントラル空調の機能低下に伴い、家庭用大型エアコンを増設する緊急的な措置であり、現状への対応としては一定の理解と評価します。

しかし、船岡保育所は、本町における保育行政を支える重要な施設である。近年は猛暑が常態化しており、保育環境における適切な室温管理は、子どもたちの健康と安全を守る上で極めて重要であります。

については、今回の整備を応急的な対応にとどめることなく、今後は空調設備の全面更新や計画的な整備についても検討を進め、子どもたちが安心して過ごせる保育環境の確保に努めること。

以上、報告いたします。予算審査特別委員会委員長平間幸弘。

以上です。

○議長（石森靖明君） 平間委員長。1点、冒頭、去る9月9日とお読みしておりましたが、3月9日ということでしょうか。

○予算審査特別委員会委員長（平間幸弘君） 訂正します。

○議長（石森靖明君） これより委員長報告に対する質疑に入りますが、議会運営基準により質疑は省略いたします。

これより討論に入ります。討論に当たっては、議案名を示して行ってください。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（石森靖明君） 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

採決は会計ごとに行います。

**議案第59号令和8年度柴田町一般会計予算について採決を行います。**

本案に対する委員長の報告は可決とするものです。

お諮りいたします。議案第59号令和8年度柴田町一般会計予算は委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（石森靖明君） 起立総員であります。よって、本案は委員長の報告のとおり可決されました。

**議案第60号令和8年度柴田町国民健康保険事業特別会計予算について採決を行います。**

本案に対する委員長の報告は可決とするものです。

お諮りいたします。議案第60号令和8年度柴田町国民健康保険事業特別会計予算は委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（石森靖明君） 起立総員であります。よって、本案は委員長の報告のとおり可決されました。

**議案第61号令和8年度柴田町介護保険特別会計予算について採決を行います。**

本案に対する委員長の報告は可決とするものです。

お諮りいたします。議案第61号令和8年度柴田町介護保険特別会計予算は委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（石森靖明君） 起立総員であります。よって、本案は委員長の報告のとおり可決されました。

**議案第62号令和8年度柴田町後期高齢者医療特別会計予算について採決を行います。**

本案に対する委員長の報告は可決とするものです。

お諮りいたします。議案第62号令和8年度柴田町後期高齢者医療特別会計予算は委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（石森靖明君） 起立総員であります。よって、本案は委員長の報告のとおり可決されました。

**議案第63号令和8年度柴田町水道事業会計予算について採決を行います。**

本案に対する委員長の報告は可決とするものです。

お諮りいたします。議案第63号令和8年度柴田町水道事業会計予算は委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（石森靖明君） 起立総員であります。よって、本案は委員長の報告のとおり可決されました。

**議案第64号令和8年度柴田町下水道事業会計予算について採決を行います。**

本案に対する委員長の報告は可決とするものです。

お諮りいたします。議案第64号令和8年度柴田町下水道事業会計予算は委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（石森靖明君） 起立総員であります。よって、本案は委員長の報告のとおり可決されました。

○議長（石森靖明君） 日程第8、議案第78号令和7年度柴田町一般会計補正予算を議題といたします。

町長の提案理由の説明を求めます。町長。

〔町長 登壇〕

○町長（滝口 茂君） ただいま議題となりました議案第78号令和7年度柴田町一般会計補正予算についての提案理由を申し上げます。

今回の補正予算につきましては、歳入では、国庫支出金やふるさと柴田応援寄附金について補正を行うとともに、財源の組替えを行い、財政調整基金及びふるさと柴田応援基金からの繰入金について、繰戻しを行います。

歳出では、ふるさと柴田応援寄附金の増加に伴う積立金や事務費などに係る経費のほか、JR船岡駅における鉄道運行案内設備整備のための補助金について補正を行います。

そのほか、繰越し明許費の追加を行います。

歳入歳出それぞれ1,878万7,000円を増額し、補正後の予算総額は173億2,039万7,000円となります。

詳細につきましては担当課長が説明いたしますので、原案のとおり可決くださいますようお願いいたします。

○議長（石森靖明君） 補足説明を求めます。財政課長。

○財政課長（藤原輝美幸君） それでは、補足説明をいたします。

議案書3ページをお開きください。

議案第78号令和7年度柴田町一般会計補正予算です。

町長が申しあげました提案理由のとおり、歳入歳出予算の増額補正を行うとともに、繰越し明許費の追加を行うものです。

5ページをお開きください。

第2表繰越し明許費補正です。

追加2件です。

2款1項総務管理費、阿武隈急行支援事業105万円は、阿武隈急行緊急保全整備事業費等補助について、令和7年度に実施を予定していた大規模修繕事業のうち、国庫補助事業の計画変更により、変電所設備更新工事を令和8年度に繰越しして実施することから、繰越し明許費を追加するものです。

7款1項商工費コミュニティープラザ管理事業150万円は、令和7年度、国の補正予算で措

置された地域公共交通バリア解消促進等事業に東北本線船岡駅生活交通改善事業計画が採択されたことに伴うものです。

事業内容は、船岡駅に列車運行情報提供設備、どこトレ駅案内モニターを整備するもので、事業実施者は東日本旅客鉄道株式会社になります。

総事業費は450万円で、東日本旅客鉄道株式会社、国、柴田町の3者がそれぞれ3分の1ずつ、150万円の費用を負担し実施する国庫補助事業となります。

事業計画により、令和8年度に財源を繰越して実施する事業であることから、繰越し明許費を追加するものです。

7ページをお開きください。

一般会計補正予算に関する説明書になります。

歳入歳出補正予算事項別明細書、2、歳入です。

16款2項4目1節社会資本整備総合交付金451万円の増は、公的賃貸住宅家賃低廉化事業の額の確定によるものです。

歳出において、12款1項1目公債費の元金償還の財源とするものです。

19款1項2目ふるさと応援寄附金2,560万円の増は、ふるさと柴田応援寄附金に1,500万円を、企業版ふるさと柴田応援寄附金に1,060万円を計上することによるものです。

企業版ふるさと柴田応援寄附金は、町外企業3社から、子ども子育て支援や植栽活動のために役立てていただきたいと寄附を受けたもので、歳出では子ども医療費助成事業の財源に充当するとともに、土木費、公園緑地費の公園樹木等管理委託料に充当しております。

次に、20款1項2目基金繰入金1,132万3,000円の減は、財政調整基金に172万3,000円を繰戻しするとともに、企業版ふるさと柴田応援寄附金を子ども医療費助成事業の財源として組替えたことから、ふるさと柴田応援基金に960万円を繰戻しするものです。

これにより、財政調整基金の残高は約13億9,600万円となり、ふるさと柴田応援基金の残高は、後ほど説明します歳出の積立金780万円を含め、約5億6,800万円を見込んでおります。

8ページをお開きください。

続いて、3、歳出です。

2款1項2目企画管理費1,621万円の増は、ふるさと柴田応援推進事業費の増額によるものです。

ふるさと柴田応援寄附金が1,500万円増となることから、寄附報償や寄附業務委託料、寄附決済等システム利用料、ふるさと柴田応援基金積立金について増額するものです。また、企業

版ふるさと納税手数料121万円を計上するものです。

7款1項3目コミュニティープラザ管理費150万円の増は、第2表繰越し明許費補正で説明しました船岡駅列車運行情報提供設備どこトレ駅案内モニター整備に係る柴田町負担分について、船岡駅バリアフリー化設備等整備補助として、計上するものです。

8款4項3目公園緑地費107万7,000円の増は、歳入の企業版ふるさと柴田応援寄附金で説明しました、植栽活動に係る経費を計上することによるものです。

9ページをお開きください。

12款1項1目公債費の元金につきましては、先ほど歳入で説明しました公的賃貸住宅家賃低廉化事業の額の確定に伴う財源の組替えを行うものです。

説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

○議長（石森靖明君） これより質疑に入ります。

質疑ありませんか。5番吉田 清君。

○5番（吉田 清君） 8ページの7款1項商工費3目18節の船岡駅のバリアフリーというか整備だけを行うって今説明がありましたが、槻木駅はその整備やらないんですか。

以上です。

○議長（石森靖明君） 答弁を求めます。商工観光課長。

○商工観光課長（天野 敬君） 今回の事業は船岡駅の整備ということで国から認定を受けた事業でございまして、町としましては船岡駅完了後、槻木駅でもぜひ整備したいということで、JRのほうには要望しておりまして、JRからは一定の理解を得ております。

あとは、町とJRが協調すれば、あと国のほうにまた要望していくような流れで、今現時点では考えております。

○議長（石森靖明君） 再質疑ありますか。

○5番（吉田 清君） ありません。

○議長（石森靖明君） ほかに質疑ありませんか。6番小田部峰之君。

○6番（小田部峰之君） 先ほど説明あったんですけども、7ページの国庫補助金、社会資本整備総合交付金、これが、公的賃貸住宅家賃低廉化事業がどういうふうにつながるのか、ちょっといまいち分からないのでご説明いただきたいと思います。

○議長（石森靖明君） 答弁を求めます。都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤康弘君） 議案書7ページの16款2項4目1節の公的賃貸住宅家賃低廉化事業なんですけども、こちらは町営住宅の新築、建て替えに伴いまして、周辺の家賃との差が

出てきます。

民間であると高い家賃なんですけども、公共住宅については安くなりますので、その差額分を国のほうから補填、補助を頂くというようなメニューになっておりまして、この分の国のほうからの増額配分があったということで、今回補正をお願いしたものになっております。

○議長（石森靖明君） 再質疑ありますか。

○6番（小田部峰之君） ないです。

○議長（石森靖明君） ほかに質疑ありませんか。16番白内恵美子さん。

○16番（白内恵美子君） 8ページの土木費、都市計画費、公園緑地費の委託料、公園樹木等管理委託料について、もう少し詳しく、どの公園にどのような木を植えようとしているのか伺います。

以上です。

○議長（石森靖明君） 答弁を求めます。都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤康弘君） 議案書8ページの8款4項3目12節の公園樹木等管理委託の詳細の内容になりますけども、こちらの植栽の場所については、船岡城址公園内です。具体の場所としましては、今現在工事を進めておりますみんなの広場の、その植樹帯の部分に植栽を計画しております。

また、山頂付近の早春の丘から下ってくる園路沿いに植栽を計画しておりまして、種類としましては、河津桜、アジサイ、レンギョウ、そのほか梅のロウバイやミチシルベなど、主に早咲きの花木を植栽する計画であります。

○議長（石森靖明君） 再質疑ありますか。

○16番（白内恵美子君） ないです。

○議長（石森靖明君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（石森靖明君） これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（石森靖明君） 討論なしと認めます。

これより、議案第78号令和7年度柴田町一般会計補正予算の採決を行います。

お諮りいたします。本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（石森靖明君） 起立総員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

---

日程第9 陳情第 7号 全国一律最低賃金の創設と中小企業支援の拡充を求める政府  
府に対する意見書採択を求める陳情書の提出について

陳情第 8号 東京都新宿区において顕在化した事例を受けて政党機関紙  
の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求  
める陳情

○議長（石森靖明君） 日程第9、陳情に入ります。

3月会議において本日までに受理した陳情は、お手元に配付の陳情文書表のとおりでありま  
す。

陳情については、議会運営委員会の協議により、配付のみの取扱いといたします。

常任委員会の休会中の活動予定の件について連絡いたします。

3月会議後の委員会活動予定については、お手元に配付いたしました内容ですので、ご承知  
願います。

---

○議長（石森靖明君） これで、3月会議に付された事件は全て終了しました。

休会前に、町長から挨拶の申出がありますので、これを許します。町長。

〔町長 登壇〕

○町長（滝口 茂君） 議長にお許しを頂きましたので、令和7年度柴田町議会3月会議を閉じ  
るに当たりまして、一言御礼のご挨拶を申し上げさせていただきます。

3月の会議におきましては、3月2日の開会から本日まで18日間にわたり、本会議及び予算  
審査特別委員会におきまして慎重なるご審議を賜りました。

提案申し上げました令和8年度各種会計当初予算のほか、条例案件8件、令和7年度各種会  
計補正予算、また追加で提案申し上げました令和7年度一般会計補正予算の全てにおきまして  
原案のとおり可決頂きましたこと、誠にありがとうございました。

さて、ここに来て、人口減少、デジタル社会の到来で、地方自治体を取り巻く環境が大きく  
変わろうとしております。

経済を回すにも、産業を振興するにも、企業を誘致し地域の活性化を図ろうにも人材が不足  
し、特に働き手の中心である若者の流出が深刻化しております。そのため、地方における消費  
支出の減少や大型商業施設の撤退によって、地方の各都市はおのずと縮小せざるを得なくなっ

ております。

そうした中で、3月16日の新聞に、自治体の貯金は過去最高なのに財政難と記事が掲載されました。

柴田町においても、税収が伸びているにもかかわらず、それ以上に社会保障費が伸びているため、財政調整基金等約20億円のうち約7億4,000万円、ふるさと柴田応援基金から約3億4,700万円、合計で約10億9,400万円を取崩して、何とか令和8年度の予算を編成したところでございます。

このように、財政調整基金をとり崩す財政構造が固定化されてきますと、令和11年度で財政調整基金等が枯渇しかねず、今後ますます厳しい財政運営を覚悟しなければならないと思っております。

そうした厳しい財政構造の中で、今回投資的な事業を前年度より増額できましたのは、職員が100%または90%起債が充当できる事業メニューを探して活用したことで、予算化が可能となったものでございます。

これは、資金繰りがタイトな柴田町の財政運営上、大変結構なことなのですが、一方で、当初に現金を使わない分、後年度の返済額が大きくなるといった副作用が出てきます。

総括質疑で平間議員、白内議員から指摘がありましたように、後年度の公債費の負担がさらに増えれば、令和11年度以降も耐える時間帯はさらに伸びることになります。

こうした社会の変化や各自治体の財政状況を踏まえれば、もはや地方における経済の規模の拡大や都市の膨張による発展は望むべくもありません。

柴田町の明るい未来を切り開いていくためには、これまでの拡大主義でなければ地方は発展しないとといった呪縛を解きほぐし、時代の変化を読んで、発想を変えていかなければなりません。

人口1,813万人のオランダが推進しておりますシュリンク政策を参考に、環境に配慮した循環型の経済と生活の質の向上の両立を目指すことが、今後の柴田町の持続的な発展につながると思っております。

それでも心配なことは、今後柴田町がコントロールできない医療、介護、福祉サービス等の社会保障の伸び、みやぎ県南中核病院企業団や泉南地域広域行政事務組合からの負担金の増額要請、阿武隈急行株式会社への赤字補填の状況によっては財政危機が表面化しかねない綱渡りの財政状況にあるだけに、将来の資金需要や財政計画をしっかりと頭に入れ、大しげに船を難破させることのないよう、これまでの行財政経験を駆使し、困難を乗り越えてまいりたいと思

っております。

いよいよあと2週間ほどで桜が咲き、柴田町が一番輝く季節を迎えます。

改めて、この1年にわたる議員各位のご指導により、厳しい財政状況の中におきましても、各大型プロジェクトを着実に前進させることができました。改めて深く感謝申し上げます。

議員の皆様には、令和8年度に柴田町と槻木町が合併して、70周年を迎える柴田町の町政運営において、なお一層のご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。閉会に当たり御礼のご挨拶とさせていただきますと思います。大変ありがとうございました。

○議長（石森靖明君） これで本日の会議を閉じますが、議長からご紹介いたしますので、ご起立いただきたいと思ひます。

会計課、沖館会計管理者。子ども家庭課、真嶋課長。

○議長（石森靖明君） このたび、沖館淳一会計管理者、真嶋朱美子ども家庭課長、お二人は、3月末末日をもって役職定年となります。

議場の皆さんから、大きな拍手をもって労をねぎらいたいと思ひます。

大変ご苦勞さまでした。（拍手）

ご着席ください。

これをもって令和7年度柴田町議会3月会議を閉じます。

大変ご苦勞さまでした。

午前10時03分 閉 会

---

上記会議の経過は、事務局長大山 薫が記載したものであるが、その内容に相違ないことを証するためここに署名する。

令和8年3月19日

議 長 石 森 靖 明

署名議員 17番 吉 田 和 夫

署名議員 1番 吉 田 謙 治